

CASBEE-建築(新築)2016年版

京府大工員学部(仮称)新築等工事の内 8号建築工工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q1 建築物の環境品質			0.40		3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	
1 室温		3.0	0.60	-	
2 外皮性能		3.0	0.40	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	
3 光・視環境		3.2	0.25	-	3.2
3.1 昼光利用		2.4	0.30	-	
1 昼光率		2.0	0.60	-	
2 方位別開口		-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	
1 昼光制御	カーテンとアルミルーバーによる昼光制御	4.0	1.00	-	
3.3 照度	教室の照度:500lx	4.0	0.15	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	
4 空気質環境		3.7	0.25	-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料の採用	4.0	1.00	-	
4.2 換気		3.6	0.30	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	
2 自然換気性能	居室面積の1/15以上の開口を確保	5.0	0.33	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	
Q2 サービス性能		3.6	0.30	-	3.5
1 機能性		3.6	0.40	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	
3 パリアフリー計画		3.0	1.00	-	
1.2 心理性・快適性		4.5	0.30	-	
1 広さ感・景観	教室天井高2.7m以上確保	4.0	0.50	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	
3 内装計画	コンセプトに基づく内装計画、パースによる照明を含めた事前検討。	5.0	0.50	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い内装材、風除室の距離確保、外部金属部メッキ処理	4.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	塩ビシート・ビニルクロス・岩面吸音板:耐用年数20年	5.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外・高湿系ダクトの材料に配慮	5.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種がB以上	5.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備	節水型便器の採用	4.0	0.20	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4m以上確保	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.07	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室内環境(敷地内)			3.0	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さ、外装、色彩など周囲の景観に配慮した設計となっている。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		府内産木材の使用、ビロイヤベンチで待合せ空間の創出、防犯性へ	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー			3.0	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.54	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		ナイトバージ機能	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]= 0.77	3.3	0.50	-	-	3.3
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源(マテリアル)			3.0	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		聲音装置付き節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床タイル(ルースレイタイル)、タイルカーペット(GA3600)、岩面吸音板(ソラ	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			3.0	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率に基づく換算スコア=3.4	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車量と導入路の工夫	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストのほとんどを満たす。広告物照明はなし	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	